

東海大学医学部付属病院では、  
日本造血細胞移植データセンターから得られた情報を使用して  
下記の臨床研究を行っています。

下記臨床研究は「東海大学医学部 臨床研究審査委員会」にて病院長の承認を得て実施しています。  
当該情報の使用については、日本造血細胞移植データセンターにて匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究は日本造血細胞移植学会データセンターに研究申請を行い、データの使用について許可を得ています。また、このデータは登録時に、既に匿名化された情報（特定の個人を識別することができないもの）ですが、ご質問などございましたら担当者にご連絡ください。

**【研究課題名】**

同種移植後生着不全への救援移植における患者側因子が移植成績に与える影響

**【研究の目的】**

下記の診療情報等を利用し、同種移植後生着不全時の救援率を明らかにすることを目的としています。

**【研究の対象となる方】**

2006年1月1日 から 2018年12月31日 までの間に同種造血幹細胞移植を受け、一元管理プログラムにデータ登録された方の中で、生着不全を発症した方です。

**【利用期間（研究実施期間）】**

臨床研究審査委員会承認日 から 2026年7月31日 まで となります。

**【研究に用いる情報の項目】**

年齢、性別、移植時の合併症、全身状態スコア、輸注細胞数、HLA 一致度、前処置、原疾患および疾患状態、用いた免疫抑制療法、前処置、再移植時のドナー情報など

**【利益相反に関する事項】**

この研究は、特定企業等からの資金提供はないため利益相反はありません。

**【問い合わせ先】**

東海大学医学部付属病院 （電話：代表 0463-93-1121 内線：2237）

研究責任者 血液腫瘍内科 鬼塚 真仁

問い合わせ担当者 血液腫瘍内科 原田 介斗